

農地法第4条届出の記載例（届出者が2名以上で別紙を使用する場合）

別紙

農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出書

（あて先）名古屋市農業委員会会長

届出書を窓口へ提出する日を記入してください。

法人の場合
株式会社
 代表取締役

平成 〇〇年 〇月 〇日

届出者 名古屋 太郎 外2名

個人の場合 認印で可
 法人の場合 法人の代表者印

余白に捺印を押してください。

下記によって農地を転用したいので、農地法第4条第1項第7号の規定によって届け出ます。

名古屋 東部 中川	1 届出者の住所及び職業	住所				職業				
	住所や土地の所在地は、「丁目」「番・番地」「号」を省略せず、正しく記載してください。またアパートやマンション名等も正しく記入してください。	別紙記載のとおり				別紙記載のとおり				
		土地の所在	地番	地目		面積	土地所有者		耕作者	
				登記簿	現況		氏名	住所	氏名	住所
名古屋市中区三の丸〇丁目	〇番	田	田	300	届出者と同じ		届出者と同じ			
名古屋市中区三の丸〇丁目	〇番△	田	雑種地	200	届出者と同じ		なし			
2 土地の所在、地番、地目及び面積並びに所有	以下余白				現況を記入してください。（田、畑、宅地、雑種地等）					
区画整理区域内の仮換地がある場合は、仮換地証明により記載してください。仮換地に関しては赤で記入してください。*「農地法第5条届出書の記載例」を参考にしてください。	地目が登記簿と現況で異なる場合には、登記を優先して記入してください。				現況が農地（田、畑）の場合は「耕作者」を記入、農地以外（田、畑以外）の場合は「なし」と記入してください。土地所有者・耕作者が届出者と同様の場合は「届出者と同じ」等の記入でも結構です。					
計		500	m ²	（田	500	m ²	畑	m ² ）		
3 転用計画	転用の目的	自己住宅				工事着工時期、工事完了時期を具体的に記入してください。				
	転用の時期	工事着工時期	平成〇〇年〇月〇日		工事完了時期	平成〇〇年△月△日				
	転用の目的に係る事業又は施設の概要	本造△階建住宅 建築面積□□m ² 延床面積〇〇m ²								
4 転用することによって生ずる附近の農地、作物等の被害の防除施設の概要	付近に農地はなく、被害は生じないため、防除施設の必要はありません。				（自己・共同・建売住宅） <input type="radio"/> 階建住宅 建築面積△△m ² 延床面積□□m ² （駐車場） アスファルト舗装、〇〇台 （資材置場） 整地して使用します。等を記入してください。					
	（周辺に農地がなく、被害が生じる恐れがない場合） 付近に農地はなく、被害は生じないため、防除施設の必要はありません。				（周辺に農地に被害が生じる恐れがある場合） コンクリートブロック擁壁を設置し、土砂流出を防除します。 給水は上水道、排水は既設排水路に放流します。 万一周辺農地等に被害等が発生した場合は、当方で責任をもって解決します。等を記入してください。					

記載注意 (1) 届出者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載する。

(2) 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入する。

※届出書はA3縦用紙で届出してください。